

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	千葉医療秘書専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	医療秘書科	夜・通信	165 単位時間	160 単位時間	
	診療情報管理士科	夜・通信	240 単位時間	240 単位時間	
	医療事務科	夜・通信	90 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/chiba-med.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	千葉医療秘書専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	H28. 4. 1 ~ R2. 3. 31	法務
非常勤	公認会計士	H29. 4. 1 ~ R2. 3. 31	財務
非常勤	弁護士	H29. 6. 1 ~ R3. 5. 31	法務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	千葉医療秘書専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスについては、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」に則り作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 作成したシラバスは、年度当初のガイダンス等で生徒へ配付するとともに、ホームページ上で公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/chiba-med.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規程に基づき、各生徒の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき100点法で素点を出し、以下のとおり5段階評価をつける。 素点100～90：評価5 単位認定 素点89～70：評価4 単位認定 素点69～50：評価3 単位認定 素点49～30：評価2 単位認定 素点29～：評価1 単位不認定 通年科目においては、前期・後期の評価の平均値を学年評価とする。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は1とする。 また、科目ごとにシラバスに定められた試験に不在だった生徒に対して追試験を行う。この際公欠でない、本人に起因する理由で不在であった生徒については、八掛けにて採点する。 単位不認定の場合、必修科目においては次年度再履修し、選択科目においては必ずしも再履修する必要はない。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験、レポートの成績等により算出した5段階評価の全科目の平均値を客観的な指標とし、成績管理等を行う。 なお、G P Aは、試験内容やシラバスなどを作る際の参考データ等として、教育の質を見直すための数値として導入している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/chiba-med.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 修業年限以上在学していること。 学年制においては各学年の課程の修了が認められていること。単位制においては所定の単位を修得していること。 在籍期間の学納金が完納されていること。 転入生に関しては、前籍校で認定されている在籍年数・単位数を含めて、上記の条件を満たした場合に卒業を認定する。 以上の要件を満たした生徒に対し、卒業を認定する。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/chiba-med.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	千葉医療秘書専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門程	医療秘書科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1615 単位時間	1065 単位 時間	1185 単位 時間	180 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
	夜		2430 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		169 人	0 人	8 人	27 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像> 相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材を育成する。

学修支援等
(概要) クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
73人 (100%)	0人 (0%)	68人 (93%)	5人 (6%)
(主な就職、業界等) 千葉大学医学部附属病院 千葉メディカルセンター 成田赤十字病院 亀田総合病院			
(就職指導内容) ①面談 ②企業ガイダンス ③施設実習 ④面談 ⑤就職希望確定 ⑥履歴書（書類）指導 ⑦面接指導（模擬面接） ⑧内定 ⑨卒業生講和 など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療事務検定 1～2 級 診療報酬請求事務能力認定試験 医療秘書技能検定準 1～3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
167 人	5 人	2%
(中途退学の主な理由) ・目標喪失 ・進路変更 ・結婚（妊娠）		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセリングの設置 ・保護者連携の強化（全保護者との関わりを持つ）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門程	診療情報管理士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2409 単位時間	825 単位 時間	1650 単位 時間	135 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間
			2610 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		52 人	0 人	8 人	27 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材を育成する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (80%)	1 人 (20%)
（主な就職、業界等） 千葉大学医学部附属病院 千葉メディカルセンター 成田赤十字病院 亀田総合病院			

(就職指導内容) ①面談 ②企業ガイダンス ③施設実習 ④面談 ⑤就職希望確定 ⑥履歴書（書類）指導 ⑦面接指導（模擬面接） ⑧内定 ⑨卒業生講和 など
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療情報管理士 医療事務検定 1～2 級 診療報酬請求事務能力認定試験 医療秘書技能検定準 1～3 級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセリングの設置 ・保護者連携の強化（全保護者との関わりを持つ）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門程	医療事務科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	810 単位時間	225 単位 時間	585 単位 時間	0 単位時 間	0 単位時 間	0 単位時 間
			810 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		34 人	0 人	8 人	27 人	35 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要)</p> <p>授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。</p> <p>科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。</p> <p>なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。</p> <p><目指すべき人材像></p> <p>相手のこうしてほしいを理解し、考え動ける人材を育成する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）</p>			
<p>卒業者数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>36 人 (100%)</p>	<p>0 人 (0%)</p>	<p>33 人 (91%)</p>	<p>3 人 (8%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>千葉大学医学部附属病院 千葉メディカルセンター 成田赤十字病院 亀田総合病院</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>①面談 ②企業ガイダンス ③施設実習 ④面談 ⑤就職希望確定 ⑥履歴書（書類）指導 ⑦面接指導（模擬面接） ⑧内定 ⑨卒業生講和 など</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>医療事務検定 1～2 級 診療報酬請求事務能力認定試験 医療秘書技能検定準 1～3 級</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38	2人	5%
(中途退学の主な理由) ・目標喪失		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・カウンセリングの設置 ・保護者連携の強化(全保護者との関わりを持つ)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書科	100000 円	740000 円	215000 円	その他 施設費(180,000) 実習費(35,000)
診療情報 管理士科	100000 円	740000 円	211000 円	その他 施設費(180,000) 実習費(31,000)
医療事務科	100000 円	740000 円	244000 円	その他 施設費(180,000) 実習費(64,000)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
千葉メディカルセンター	2019年4月1日より 2020年3月31日まで	主査
聖隷佐倉市民病院	2019年4月1日より 2020年3月31日まで	係長
飛鳥未来高等学校	2019年4月1日より 2020年3月31日まで	教頭
IMS グループ 医療法人社団 明芳会 イムス東京葛飾総合病院	2019年4月1日より 2020年3月31日まで	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/measure/med/28_chiba-med.pdf (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.sanko.ac.jp/chiba-med/>